

香里能楽堂公演 7月で一日閉幕

寝屋川市の香里能楽堂が京阪電鉄高架化に伴う道路拡張工事で立ち退きとなる。関西唯一の宝生流の能楽堂は半世紀以上にわたり定期公演、普及公演を開き、非日常の幽玄の世界を届けてきた。また枚方市との連携による能楽体験イベントや近隣の小学校に出向いての能楽教室など、地域に根付き伝統芸能の普及に努めてきた。しかし、今回の立ち退き工事で客席は3分の1に減り、7月2日(金)のスペシャルイベント、4日(日)の宝生流宗家55周年記念公演などを最後に公演の幕は下ろす。



香里能楽堂舞台

演実現に向けて、クラウドファンディングで支援を募ったところ、すでに予定額を上回る好評ぶりで、各方面から香里能楽堂の示すチャレンジ精神に対する期待の大きさが伺える。

2日の「現能序章 2021現代エンタメ×伝統芸能×フェス」は、能楽師や狂言師の野村萬斎とアイドルやアーティストが共演する現代エンタメ要素たつぷりの目玉企画となる。伝統芸能は敷居が高いと敬遠していた人や若い人たちの固定概念を取り払い、新たなエンターテイメントとしてお目見えする。公演を主宰する能楽師の辰巳満次郎さんは「立ち退き工事で、今後の公演は不可能になるが、舞台だけは稽古用に残す予定。大変残念だが、数年後にはこの地域での移転を実現させ、再び伝統芸能を復活させたい」と意欲に燃える。公演などの問い合わせは ☎072-8831-3206 寝屋川市末広町11-8 辰巳方